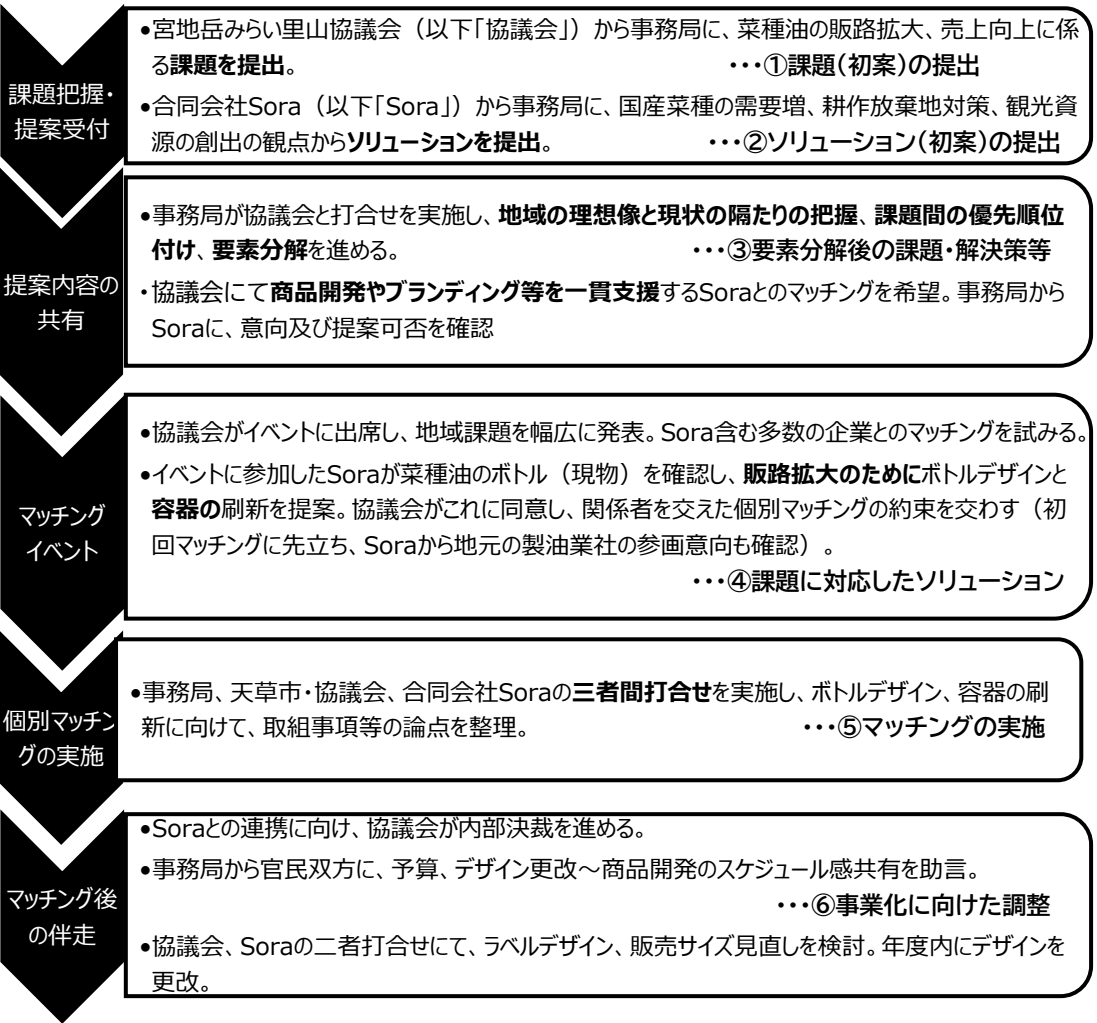


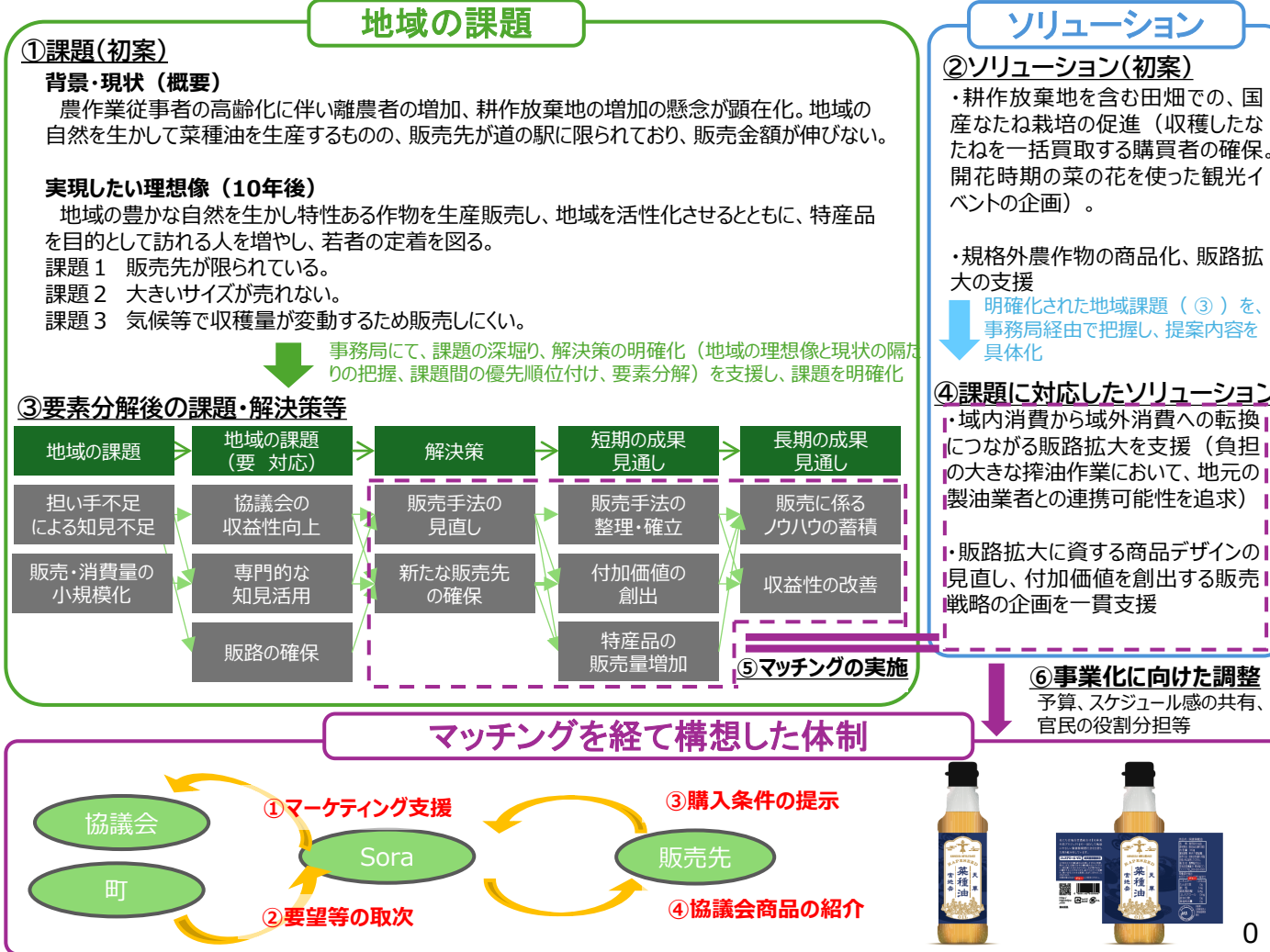
天草市宮地岳みらい里山協議会×（同）Sora間の共創までのプロセス（事例②）

- 生産者の高齢化に伴い生産量が不安定化している菜種油において、地域内の製油業者との連携体制を構築し、作業負担の多い搾油業務のアウトソーシング、販路の安定に資する一括買取に向けた協議を進行させるとともに、販路拡大に向けて商品デザインを更改。
- 参画企業は、アウトソーシングと一括買取を可能にする体制の構築、商品開発、マーケティング、販売価格等の調整を担う。
- 参画企業においては、広告業でのネットワークを活用した新規事業に参入する機会を得た。

年間の動き（タイムライン）



共創に向けた情報の整理



第3部 事例② 「地域産品の販路拡大に向けたマーケティング支援」 (1/2)

天草市宮地岳みらい里山協議会×（同）Sora

分野/テーマ：「農業」/ 商品展開の一貫支援

① 市町村の概要と課題

- ・熊本県天草市内のうち日本渡市に位置する町
- ・町内の自然を活かした農作物の生産が盛んであり、米、菜種油、そばなどを特産品としている
- ・町内の高年齢化率が50%を超えており、農業分野の担い手不足を始め、地域活動等においても人口減少の影響を受けているものの、令和6年度より宮地岳みらい里山協議会を設立し、農地保全、生活支援等に取り組む
- ・同協議会を中心として生産、販売を行う菜種油等について、地域内消費に留まっており、販路拡大や販売手法の見直しを行いたい意向があるが、独力では限界があることから、協働可能な事業者との連携を望んでいる

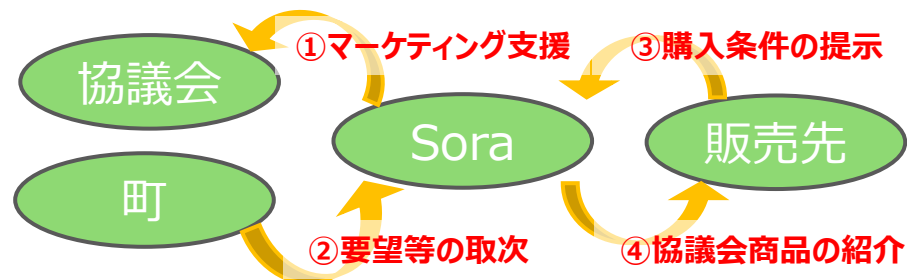
② 共創に向けたソリューションの概要

- ・菜種油の域内消費から域外消費への転換に向けた販路拡大や負担の大きな搾油作業において、連携可能性のある製油業を行う事業者の紹介を実施
- ・また、販路拡大にあたって商品デザインの見直しや付加価値を創出するマーケティングディレクションを支援

④ 官民共創における連携体制の構築イメージ

- ・協議会の商品について、付加価値創出に向けたデザイン更改等のマーケティング支援を行うとともに、更改後商品の販売先を取次ぐことで出口を意識した一貫通貫の支援体制を構築

マーケティング見直しに係る体制



③ 課題の提示において事業者が求めていた点

- ・連携を実施した提案事業者は、商品の販路拡大において、販売先の紹介からマーケティング支援、商品開発に至るまで一貫した支援が可能な事業者であった
- ・そのため、共創時においては、どの領域まで支援を求めているかなどの支援内容や販売先を紹介するにあたっての条件整理を明確化する必要があった
- ・上記に対して協議会は、支援事項の整理や販売先の求める情報開示に積極的であったことから、スムーズな共創が実現した

⑤ 官民共創・マッチング実現のポイント

- ・今回の共創事例については、協議会と提案事業者が主体者となるが、両者の協議において市町村担当者が適時同席することで、双方の主張の整理を実施
- ・立場が異なる共創のため、連携を進めるにあたっての手法やスケジュール管理の点で認識を合わせる必要があったが、市町村担当者が両者を取り持つことで迅速な対応が可能となった



⑥ 今後の連携の流れ

R7.1Q～	R7.2Q～	R7.3Q～	R8.1Q～
・菜種油商品デザインの更改	・商品販売におけるディレクション支援	・販売先との売買における条件調整	・支援品目の拡大（大豆等）